

## BEST AVAILABLE COPY

## GOLF CLUB

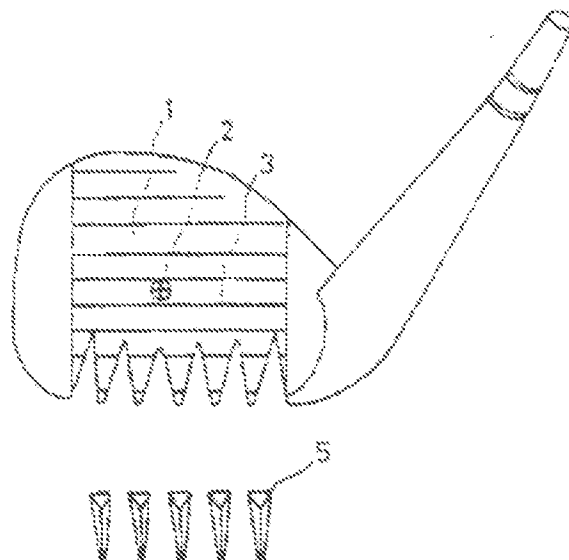
Patent number: JP3224578  
Publication date: 1991-10-03  
Inventor: NIYOMU TANANPAI  
Applicant: NIYOMU TANANPAI  
Classification:  
- international: A63B53/04; A63B53/04; (IPC1-7): A63B53/04  
- european:  
Application number: JP19900014727 19900124  
Priority number(s): JP19900014727 19900124

Report a data error here

## Abstract of JP3224578

**PURPOSE:** To make a ball capable of being driven in accurate direction and angle by arranging a plurality of cut-off parts so as to form a plurality of comb teeth-like or saw teeth-like tooth nucleuses from the lower end edge in the lower part of a club head.

**CONSTITUTION:** A ball driving surface 1 has a plurality of horizontal shallow grooves 3 and is provided in the lower part with a plurality of cut-off parts so as to form a plurality of comb teeth-like or saw teeth-like teeth which help the cut-off parts to pass a position below a golf ball through the sands. Thus, when a club head is swung through the sand surface, sand grains pass spaces of cut-off parts between the teeth to easily rearward pass through. The length, shape, number of the teeth and the space of the cut-off part between the teeth are calculated to be serviceable for the use of the club, so that the ball can be driven in accurate direction and angle.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

## 公開特許公報(A) 平3-224578

Int. Cl.<sup>8</sup>

識別記号

庁内整理番号

公開 平成3年(1991)10月3日

A 63 B 53/04

F

8302-2C

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

④発明の名称 ゴルフクラブ

⑥特 願 平2-14727

⑥出 願 平2(1990)1月24日

⑦発 明 者 ニヨム タナンバイ タイ国 バンコック 10120 トウン ワット ドン デ  
イストリクト ヤナワ チヤン ロード ソイ キンチャ  
ン 179/3番地

⑧出 願 人 ニヨム タナンバイ タイ国 バンコック 10120 トウン ワット ドン デ  
イストリクト ヤナワ チヤン ロード ソイ キンチャ  
ン 179/3番地

⑨代 理 人 弁護士 伊東 忠彦 外2名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

ゴルフクラブ

## 2. 特許請求の範囲

1. クラブヘッドの下部に下縁面よりくし歯状又は歯輪状の溝状の部を形成するよう溝状の切欠部を設けてなる砂用ゴルフクラブ、
2. 上記各溝の側に突設可能な突起するスリーブを設けてなる請求項1記載のゴルフクラブ、

## 3. 発明の具体的な説明

本発明は砂用ゴルフクラブに係る。

一般にゴルフをプレーする際、時々ゴルフボールは誤った方向に打ち、砂地のバンカーに落ち、プレーヤーは大変な力でゴルフボールをより強引して打たなければならない苦しい状況が生ずることがある。

そこで、ゴルフプレー用のゴルフクラブの裏面は砂地面よりゴルフをプレーする際に設計された一箇所であるサンドウェッジと称されるゴルフクラブを有する。このクラブのクラブヘッ

ドの打撃面は同じセットにおける他のクラブより平面レベルに對しな傾斜が少なく、即ちロフト角が大きく、掘削力を平面を越えようとする力を有する。

この種のゴルフクラブは厚いソールを有し、砂地を打つ際、クラブヘッドの下部は砂を押して小山を作りその反発力でボールを砂と共に打ち出す。このような砂の掘り上げ及び反発力の発生はしばしばゴルフボールを掘る方向と異なる方向に飛ばし、従って正確度を失い、ゴルフボールに對する力の伝達が正確に伝達されなかった。従って、掘削角の制御は困難であった。本発明によるゴルフクラブは、砂が掘り上げ又はくし歯状の溝の部の底部を通過して容易に掘削に通過することから出るようクラブヘッドの面上の砂の摩擦係数を減少すると共に掘削及び反発力を減少するようにしてある。

以下図面と共に説明すると、図1A、1B図において、1は打撃面で、中心部がスイートスポット2は正確に掘削部の位置にある。打撃面は

